

妙法華寺便り

令和6年1月号

◇ 行事報告 ◇

12月18日（月）摩利支天月例祭

令和5年最後の式典は無事に納めることが出来ました。ありがとうございました。

さて、令和6年はどのような年になるでしょうか。三碧木星・甲辰（きのえ・たつ）の年です。

方位を見ると三碧木星は東、甲は東、辰は東から南への方位、恵方は東と、東に偏っています。勢いが付き確実に物事が進むと思われます。反面、「辰」に「才」で「振」のように様々な事（己の心も含めて）揺れ動きが激しくなると思われます。地震も心配です。反対方位の西への影響も大きい為、金銭の問題が出てきやすくなるでしょう。運用は王道に徹して吉ですので、身の丈に合った行動をしましょう。また、辰の字の「厂」は「崖」です。登り龍は崖の滝を登ってきた鯉が変化していくように、去年の「卯」で繁った草を切り開いて進めば崖が出現します。この崖は必ず登れます。しかしながら、「甲」付く字には「狎」と言う字があり、「なれる」という意味で、これはなれ合いの「なれ」なので、現状維持を求める者からは、今まで通りで良いのではないかという言葉が出るのです。すなわち、これから新しい事を始める者とは意見が合わない時もあるということです。お互いに落ち着いて話し合う事が特に大切になってくる年ではないでしょうか。

コロナも5類になって、人の動きもコロナ発生前のように活発になってきました。手洗い・うがい等、体調管理に気を付けて行きたいものです。



1月1日（月）除夜の鐘

午前零時より約15名の方が参加され、お題目を唱えながら除夜の鐘を撞き、罪障消滅を願い、新たな気持ちで新年を迎えました。特にこの日は甲子の日で、金運が良くなる日でした。正月に重なるのは稀ですので、良いお参りになったと思います。また、富山総代より、新年のご挨拶がありました。

毎年、住職不在の中、皆様のおかげで、今年も気持ちの良い新年が迎えられました。有り難うございました。



◇ 令和6年元旦へ ◇

仏像のほこりを落として、御宝前のお掃除をし、幣束、注連縄を取り替え、正月飾りができ、妙法華寺も新年をお迎えする準備が整いました。

令和6年が皆様にとって良き年となりますよう、祈念いたします。



◇ 行事案内 ◇

開運星祭（厄除け祈願）

2月4日（日）午前10時より本堂にて、「年中安全、厄除け諸難除け」の特別祈禱を行います。当日は、申込された御札一体一体にお香を通し、木剣修法を行い、御札に魂を入れます。お申し込みがまだの方は、至急お申し込み下さい。

なお、お申し込みをされて、当日ご参加出来ない方には、後日お送りいたします。

摩利支天月例祭

2月18日（日）、3月18日（月） 午前10時より執行いたします。

多くの摩利支天様がお座り頂いた御宝前にて各家の家内安全、身体健全を祈願し、お加持を受けます。皆様のご参加をお待ちしております。

なお、お供えは、摩利支天様一体千円以上、お賽銭百円以上を申し受けます。

少年少女のつどい

来る4月3日（水）に組寺主催の少年少女の集いが開催されます。

今回の会場は、「不変院・大坊」です。

小・中学生（兄弟・姉妹等で、小さなお子様の参加希望の方はお寺にご相談ください。）であればどなたでも参加できます。参加希望の方は、同封のチラシの最下部にある「参加申込書」に記載し、お寺までお届け下さい。

チラシは、近隣の方のみ同封させて頂いておりますので、ご了承下さい。

◇ 近 況 ◇

令和6年1月1日に能登半島地震が発生し、多くの方が亡くなられたり、避難生活を強いられたりしています。日々平穏に過ごさせていただけの有り難さに感謝し、少しでも何かできる事は無いかと思い、日々のお経の時に、「能登半島地震が早く落ち着きますように」と祈ると共に、お塔婆を建てて亡くなられた方への追善供養をさせていただいております。皆様もお仏壇に手を合わせた時にお祈りいただければ幸いです。そして万が一に備えての準備を今一度ご確認ください。備えあれば憂いなし。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

合 掌